

学べるトラベル

08



市立草野心平記念文学館



←生前、心平が営んでいた居酒屋「火の車」を再現



←ロビーガラス面には、小川の街並みを背景に心平の詩

施設は、「蛙かえるの詩人」と称され、いわきを代表する詩人、文学者としても知られる草野心平の功績、作品などを収蔵、展示する。平成十年に心平の没後十年を記念して設立され、遺族から寄贈された著書、原稿、書画、遺品などが主な資料だ。

小玉ダムに近い、小川町の山の上であり、館内ロビーからは心平の愛した二ツ箭山と小川地区の街並みが見晴らせる。

文化勲章、数々の文学賞などを受け、市の名誉市民にも選ばれた心平だが、若い頃は数々の引越しを繰り返し、放浪と貧困に悩まされながらも、詩人宮澤賢治、高村光太郎、萩原朔太郎らと親交を深めた。

自らの詩作だけでも膨大な作品を残し、文通を通して交流を深めた賢治のため、死後にその遺作を世に広めるべく奔走。賢治の作品が一般にも知られるようになったのは、心平の功績が大きいとされている。

かつては一万人以上の来場者が訪れた同館だが、コロナ



2018年度に開催された「宮沢賢治展-賢治の宇宙 心平の天-」でも展示された、宮沢賢治の『心象スケッチ 春と修羅（大正13年4月）』。心平愛蔵の1冊で、貴重な初版本



宮沢賢治『春と修羅』

市立草野心平記念文学館データ

- 住所=いわき市小川町高萩字下夕道1番地の39
- 休館日=毎週月曜（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12/29～1/1）
- 開館時間=9～17時（入館16時30分まで）
- 入館料=一般440円、高・高専・大生330円、小・中生 160円
- 電話=0246-83-0005



館内展示のほか、屋上と周辺にも遊歩道がある

▶企画展示スペースでは、会期ごとにさまざまなテーマが取り上げられる

知られざる心平の魅力

禍で令和三年度の利用者数は五千四百人余と半減。現在は回復傾向で、コロナ禍前の七割程度には戻る見通し。

平、湯本、小名浜、勿来といった中心市街区から離れた立地。心平に特化した文学関連施設であることなどの不利に対し、利用の幅を広げようと、さまざまな企画を工夫する。

今年心平生誕百二十周年と併せ、開館二十五周年を迎える同館では、さまざまな特別企画、イベントを開催。その一つとして、九月二十

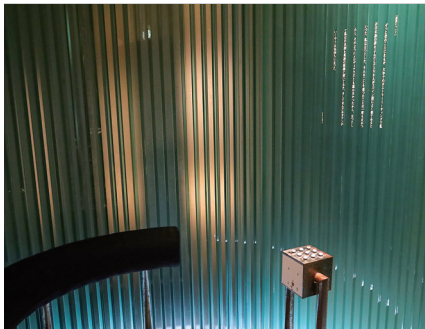
四日まで、カラフルな絵柄で人気のベストセラー絵本作家、宮西達也氏の「宮西達也 New ワンダーランド展」を実施中。

生前、心平とゆかりのあった作家、吉野せいひの文学賞表彰式のほか、小川地区の成人式会場など、市の文学、国語関連施設としての利用、地域住民の集いの場としても活用されてきた。

新潟県から、市内に転居した娘を訪ねてきたという女性来場者は、「ナビの案内で山の中に入っていくので心配になりましたが、面白い資料が多く、時間を忘れてしまいました」と、企画展会場をじっくり見て回っていた。

市民にとって心平はあまりに身近な存在であるため、かえってその価値が伝わっていないようだ。作家自身の朗読音声など、珍しい展示を見に、遠出してみるのも悪くないだろう。

心平自身が読み上げる詩の朗読音声の展示物も



(和)

食の安全・安心。さらに、おいしい

シーフードケーキ

『御中元・ご予約承り中』

創作かまぼこ かねまん

本舗

■電話・FAX・インターネットでも注文承ります。
■本店営業時間AM8:00～PM4:00(年中無休)

■ 本店
福島県いわき市平下高久字下原83
TEL.0246-39-3360・FAX.39-3754

■ いわき・ら・ら・ミュウ店
福島県いわき市小名浜字辰巳町43-1
TEL&FAX.0246-53-7125

■ オンラインショップ
www.kaneman.net
インターネットでのご注文はこちら▶

皆様の幸運を招く
恵比寿様 大黒様

恵比寿様 大黒様